

NPO法人 マックネットシステム
SINCE 2016

よりよい医療と福祉の連携を目指して

Toward Better Cooperation between Medical Care and Welfare



事業概要

2024年度版



法人概要

■施設の名称・所在地

名 称：NPO法人 マックネットシステム

所在地：大分県別府市大字亀川1140番地21

■沿革

平成27年3月 任意団体マックネットサービスとして活動開始

平成28年3月 法人格を取得し、NPO法人マックネットシステムと名称変更
(法人番号：430005009348)

■活動種類

- (1) 保健、医療または福祉の増進を図る活動
- (2) 情報化社会の発展を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動

■アドバイザー

- ・法律関連
田中 利武氏（弁護士法人 大分あおば法律事務所 所長）
- ・マインドフルネス
池埜 聡氏（関西学院大学 人間福祉学部社会福祉学科教授）
久賀谷亮氏（脳科学者・精神科医）
- ・社会保険関係
三浦博文氏（社会保険労務士三浦事務所 所長）

■ホームページ・メールアドレス

ホームページ：<https://www.mac-n.or.jp>

メールアドレス：macnet@mac-n.or.jp



理事長挨拶

当法人の目的は次通りでございます。

1. がん患者さんやその家族のサポート

がんという病は、わが国における国民病とも言われています。日本人の2人に1人ががんに罹患し、3人に1人が、がんで死亡すると言われています。がん患者さん（がんサバイバー）やそのご家族（ケアギバー）に対する支援は様々整備されてきていますが、現況の制度だけでは賄いきれない事はまだまだ沢山あります。

当法人は、がんサバイバーやケアギバーも所属しておりますので、地域の様々な機関と連携をとりながら、よりよい療養環境整備に努めて参ります。

2. 医療・福祉のよりよい連携（がん医療連携）

昨今、医療を取り巻く環境は日々変化し、医療と福祉の連携が必要とされています。これはがん医療に限らず地域包括ケアシステムでも重要であります。そこで当法人では、医療・福祉の施設情報を集約し配信する事で、医療機関と福祉施設の更なる情報共有の発展を促し、ひいては患者様や利用者様のQOL向上の一端を担う事ができればと思う所存でございます。

3. マインドフルな関係づくり

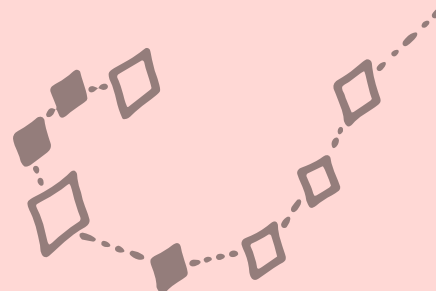
現代社会はストレス社会である事は皆さんもご承知のとおりだと思います。過度なストレスは身体・精神的に様々な影響を与えるだけでなく、人間関係にも大きく影響します。そのストレスを軽減する方法として注目されているマインドフルネスを各専門職の方々と連携を図りながら広く社会に普及され、マインドフルな関係が保たれ「誰もがストレスがなく思いやりのある社会」の構築を目指し活動を行っていきます。

4. 外国人支援

大分県東部地区には沢山の外国人が住まれています。その方々に少しでも日本文化を体験してもらったり、困った時にお役に立てるよう活動を行っていきます。必要に応じて個別支援（医療通訳や生活支援）を行います。

■事業部名

- ・がんサポート事業部：がんサポートグループ クーナ・フエゴ
- ・医療福祉連携事業部：Ponte
- ・ストレスケア事業部：リレーショナルマインドフルネス別府（RMB）
- ・外国人支援部：クレシタ



活動報告

■2018年度

1. 医療福祉連携事業部「Ponte」

(1) 平成29年04月：大分県東部医療圏有料老人ホーム一覧を作成

※大分県高齢者福祉課 有料老人ホームをもとに作成

(2) 平成29年05月：大分県医療機関情報をGoogleMapに作成

(3) 平成29年06月：佐賀県医療機関情報をGoogleMapに作成

(4) 平成29年10月：福岡県医療機関情報をGoogleMapに作成

(5) 平成29年11月：宮崎県医療機関情報をGoogleMapに作成

※平成29年度九州厚生局資料（コード内容別医療機関一覧表）をもとに作成

2. がんサポート事業部「クーナ・フエゴ」

(1) がんサロン「陽だまり」のボランティアスタッフとして参加

(2) がんサロンプック作成

(3) がん予防普及啓発活動（月1回：別府医療センター）

偶数月：おうちでできる簡単ヨガ（10:00-12:00）

奇数月：笑いヨガ（14:00-16:00）

3. ストレスケア事業部「RMB」

(1) 医療福祉従事者向けのヨーガ等研修会（年4回開催）



活動報告

■2019年度

1.医療福祉連携事業部「Ponte」

- (1)東部医療圏医療・福祉関係者会議へ参加（主催：別府医療センター）
医療・福祉関係者へのアンケートをもとに「福祉情報検索サイトの作成開始」

2.がんサポート事業部「クーナ・フエゴ」

- (1)地域型がんサロン「Ohana（オハナ）」のボランティアスタッフとして参加
(2)地域型がんサロン「陽だまり」のボランティアスタッフとして参加
(3)大分県内のがんサロンを訪問
・ひとやすみコミュニティサロンin大神ファームにボランティアスタッフとして参加
(4)働く女性世代の為のサロン「Idobata」を開催
2019.4月～月1回（全12回予定）

(5)がん検診等啓発活動

- ・2019年4月～2019年3月（全12回） 毎月第三木曜日

参加者：一般市民及び医療福祉関係者

偶数月：おうちで出来るかんたんヨーガ（10：00-12：00）

講師：NPO法人 ヨーガ療法士協会

奇数月：健康体操 笑いヨガ（14：00-16：00）

講師：大野ミチル先生（笑いヨガ大分SMILEクラブ）

場所：別府医療センター

- ・日出町図書館と共同でがん予防啓発イベントの開催

(6)サバイバースピーカー活動

R1.7.27 第10回国立病院機構ソーシャルワーカー協議会（於：九州医療センター）

3.メンタルヘルスケア事業部「RMB」

(1)市民向け講座

H31.4.18 「ストレスケア—マインドフルネスの活用—」

講師：別府医療センター 社会福祉士・精神保健福祉士 井上祥明 先生

R1.8.22 「思考とストレス」

講師：別府医療センター 社会福祉士・精神保健福祉士 井上祥明 先生

(2)九州マインドフル医療ソーシャルワーク研究会（KM-MSW）を開催

全4講座

4.外国人支援部「クレシタ」

- ・ホームステイ（イギリス）
・医療通訳、社会的支援（ソマリア）



活動報告

■2020年度

1.医療福祉連携事業「Ponte」

- (1)東部医療圏医療・福祉関係者会議へ参加。
「福祉情報検索サイトPonte」のデモ版の作成

2.メンタルヘルスケア事業「RMB」

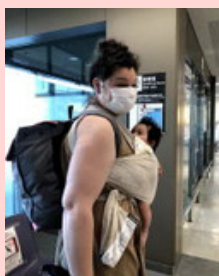
- (1)国際マインドフルネス指導者協会認定養成講座を開催
- (2)マインドフルネスに関するイベントを開催
 - ・医療におけるマインドフルネスの導入ー個別性を尊重した支援のあり方ー
2020年12月12日（土）10:00-11:30
講師：久賀谷亮先生、池埜聡先生、井上祥明先生
 - ・医療におけるマインドフルネスの導入ーがん医療でのマインドフルネスー
2021年3月21日（日）10:00-11:30
講師：保坂隆先生、池埜聡先生、井上祥明先生

3.がんサポート事業「クーナ・フエゴ」

- (1)地域型がんサロン「Ohana（オハナ）」、地域型がんサロン「陽だまり」、働く女性世代の
為のサロン「Idobata」を主催。
- (4)がん検診等啓発活動を行います。
 - ①2020年4月～2021年3月（全12回）毎月第三木曜日
※がんサロンは新型コロナ感染状況に応じ、不定期開催
- (5)その他
 - ①助成金を獲得
2020年度豊和銀行NPO団体助成金制度「自分らしさ発見 My Style Book」
 - ②「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン」に参加
主催：大分県健康づくり支援課
 - ④クラウドファンディングへ挑戦（目標額達成）

4.外国人支援部「クレシタ」

- ・医療通訳、社会的支援
オーストラリア、ニュージーランド、スリランカ、ソマリア



活動報告

■2021年度

1.医療福祉連携事業「Ponte」

- (1)東部医療圏医療・福祉関係者会議へ参加。
福祉情報検索サイトPonteのデモ版使用開始
東部医療圏の身寄りない方への対応協議

2.メンタルヘルスケア事業「RMB」

- (1)国際マインドフルネス指導者協会認定養成講座を開催
- (2)久賀谷亮先生共同企画「世界同時にゴミ拾い」を開催

3.がんサポート事業「クーナ・フエゴ」

- (1)地域型がんサロン「Ohana（オハナ）」、地域型がんサロン「陽だまり」の開催
※がんサロンは新型コロナ感染状況に応じ、不定期開催（実績：2回）
- (2)アピアランスケア・サポーターの養成
令和3年度別府市市民活動支援補助金にて2名のアピアランス・ケアサポーターを養成し、別府医療センター、キムラ調剤薬局と協働し、がん患者さんへケアの提供。
- (3)冬の音楽会の開催
- (4)大分県がん対策推進協議会への参加
参加者：クーナフエゴ代表 谷口道徳

4.外国人支援部「クレシタ」

- ・医療通訳、社会的支援
ナイジェリア、コンゴ



活動報告

■2022年度

1.医療福祉連携事業「Ponte」

- (1)東部医療圏医療・福祉関係者会議へ参加。
福祉情報検索サイトPonteのデモ版使用開始
東部医療圏の身寄りない方への対応協議

2.メンタルヘルスケア事業「RMB」

- (1)国際マインドフルネス指導者協会認定養成講座を開催
- (2)久賀谷亮先生共同企画「世界同時にゴミ拾い」を開催

3.がんサポート事業「クーナ・フエゴ」

- (1)地域型がんサロン「Ohana（オハナ）」、地域型がんサロン「陽だまり」の開催
※がんサロンは新型コロナウイルス感染状況に応じ、不定期開催（実績：2回）
- (2)アピアランスケア・サポーターの養成
令和3年度別府市市民活動支援補助金にて2名のアピアランス・ケアサポーターを養成し、別府医療センター、キムラ調剤薬局と協働し、がん患者さんへケアの提供。
- (3)冬の音楽会の開催
- (4)大分県がん対策推進協議会への参加
参加者：クーナフエゴ代表 谷口道徳

4.外国人支援部「クレシタ」

- ・医療通訳、社会的支援
ナイジェリア、コンゴ

活動報告

■2023年度

1. 医療福祉連携事業「Ponte」

(1) 東部医療圏医療・福祉関係者会議へ参加。
福祉情報検索サイトPonteのデモ版使用開始
東部医療圏の身寄りない方への対応協議

2. メンタルヘルスケア事業「RMB」

(1) 国際マインドフルネス指導者協会(IMTA)認定養成講座を開催
【主な講師】池埜聡先生、大谷彰先生、井上ウィマラ先生、花丘ちぐさ先生
(2) マインドフルネス・スタートアップ講座を開催
【主な講師】川野泰周先生、久賀谷亮先生、山下あきこ先生、笹良剛史先生
(3) 久賀谷亮先生共同企画「世界同時にゴミ拾い」を開催

3. がんサポート事業「クーナ・フエゴ」

(1) 地域型がんサロン「Ohana (オハナ)」、地域型がんサロン「陽だまり」の開催
(2) アピアランスケア・サポーターの養成
令和3年度別府市市民活動支援補助金にて2名のアピアランス・ケアサポーターを養成し、
別府医療センター、キムラ調剤薬局と協働し、がん患者さんへケアの提供。

(3) おおいたがんのピアサポーター養成講座

令和4年度、5年度のWAM助成金にて実施

ピアサポーター養成講座 計4回：45名

ピアサポーターフォローアップ講座 計6回：延べ35人参加



独立行政法人福祉医療機構
WAM助成 社会福祉振興助成事業

【後援】

大分県、国立病院機構別府医療センター、別府市薬剤師会、中津市民病院

(4) ケアキャップの配布

正力厚生会の助成金にてケアキャップを作成

【主な配布先】

別府医療センター、中津市民病院、キムラ薬局、東北大学、兵庫医科大学、保坂サイコオンコロジークリニックなど

(5) サバイバース文化祭

知識の普及、検診の推進を目的として実施。

令和6年3月2日（土）場所：日出町健康福祉センター 来場者：約450名

(6) がん教育の実施

宇佐高校へクーナ会員（サバイバー2名、がん情報ナビゲーター1名）を派遣

(7) 大分県がん対策推進協議会への参加

参加者：クーナフエゴ副代表 厚田

4. 外国人支援部「クレシタ」

- ・医療通訳、日常生活支援
- ナイジェリア、コンゴ、アメリカ、

【連携先】

フードバンクおおいた、NPOデザインセンター

活動報告

■2024年度

1.医療福祉連携事業「Ponte」

- (1)東部医療圏医療・福祉関係者会議へ参加。
福祉情報検索サイトPonteのデモ版使用開始
東部医療圏の身寄りない方への対応協議

2.メンタルヘルスケア事業「RMB」

- (1)国際マインドフルネス指導者協会(IMTA)認定養成講座を開催
【主な講師】池埜聡先生、大谷彰先生、井上ウィマラ先生、花丘ちぐさ先生
- (2)マインドフルネス・スタートアップ講座を開催
【主な講師】川野泰周先生、久賀谷亮先生、山下あきこ先生、笹良剛史先生
- (3)久賀谷亮先生共同企画「世界同時にゴミ拾い」を開催

3.がんサポート事業「クーナ・フエゴ」

- (1)地域型がんサロン「Ohana（オハナ）」、地域型がんサロン「陽だまり」の開催
- (2)アピアランスケア・サポーターの養成
令和3年度別府市市民活動支援補助金にて2名のアピアランス・ケアサポーターを養成し、別府医療センター、キムラ調剤薬局と協働し、がん患者さんへケアの提供。
- (3)おおいたがんのピアサポーター養成講座 フォローアップ編
ピアサポーター登録者数：33名

【後援】

大分県、国立病院機構別府医療センター、別府市薬剤師会

(4)ケアキャップの配布

読売の光と愛の事業団助成金にてケアキャップを作成

【主な配布先】

別府医療センター、中津市民病院、キムラ薬局、東北大学、兵庫医科大学、保坂サイコオンコロジークリニックなど

(5)サバイバーズ文化祭

知識の普及、検診の推進を目的として実施。

令和7年3月2日（日）場所：日出町健康福祉センター 来場者：約700名

(6)大分県がん対策推進協議会への参加

参加者：クーナフエゴ副代表 厚田

4.外国人支援部「クレシタ」

(1)医療通訳、日常生活支援

ナイジェリア、コンゴ、アメリカ、

【連携先】

フードバンクおおいた、NPOデザインセンター

(2)野口ふれあい交流センターにて、異文化交流会を開催

(3)令和6年度別府市市民活動支援補助金にて、在住外国人生活サポーター養成講座を開催